



平成 28 年度事業報告書

特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

事業の成果

- 1) 2016 年度も前年度に引き続き、“ダンスにおけるクリエイション環境整備”を目標に「踊りに行くぜ！！」Ⅱ（セカンド）vol.7 を実施しました。「A/ダンスプロダクション」、「B/リージョナルダンス」、「C/地元選出作品」、「D/A プログラムの再演」の4つのプログラムを通じ、計 12 の作品が完成。作品創作環境整備に向けて実績を残しました。

 - 2) JCDN 国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクトでは、第 6 弾として、「日本-香港 ダンスレジデンス エクスチェンジ 共同製作プログラム」を沖縄と札幌で開催しました。アジアの伝統芸能・古典舞踊などを現代作家の視点で見直し、2016 年 9 月～10 月まで沖縄の那覇・備瀬、札幌で滞在制作を行う。香港からコンテンポラリーダンスの振付家・パフォーマーの HUGH CHO、京劇俳優の CHOI CHI WEI を招聘し、日本からは神楽の振付にも取り組んでいる振付家・緒方祐香、パフォーマー・美術家・芸能研究家の中西レモンを共同制作者として迎える。また、これまで香港のアーティストたちと活発に活動してきた川口智子をレジデンス・アーティストとして選出し、香港で滞在制作を行う。

 - 3)「三陸国際芸術祭 2016」を、2015 年に引き続き開催しました。三陸国際芸術祭 2014・2015 の 2 回の実施を通して、この東北三陸の郷土芸能が、世界に誇れる質と多様性、そして何よりも団体数の多さに驚きました。この芸術祭を少なくとも 2020 年まで継続し、様々な郷土芸能を日本全国、ひいては世界に紹介すると共に、芸能を通して被災地間そしてアジアのネットワークを培っていくことで、文化芸能を軸とした文化産業を生み出し、被災地の復興の一助とします。

 - 4)「Sanriku-Asian Network Project」を、2015 年度より、国際交流基金アジアセンターと NPO 法人 JCDN の共催にて、年間を通して東北とアジアを芸能で繋ぐ事業を行っております。
東北の郷土芸能は、他のアジアの国々の芸能との共通点も多く、それを活かしながら、新しい芸能を創造する可能性を秘めています。そのためにアジアからの芸能団体の招へい、三陸の芸能団体のアジアへの派遣、芸能の共同制作を進めています。また、自然災害の多いアジア地域において、将来の災害に備えるため、「復興における郷土芸能の役割や保存」等について、調査・研究を進めていきます。

 - 5) 「ファシリテーター養成スクール」は、コミュニティダンス・ファシリテーターを国内で養成することを目的に、2014 年にスタートしました。英国の Foundation for Community Dance が、毎年夏に開講している ‘Summer School’ をモデルに、ダイアナ・アマンズ、セシリア・マクファーレンを講師に招き、〔基礎〕〔応用〕の 2 コースを開講しました。このスクールを通して、社会とダンスのつなぎ手となるファシリテーターとともに、今後の日本のコミュニティダンスにおける新たな可能性を切り開いていきます。
-
- 6) 文部科学省「平成 28 年度児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験(芸術家派遣)」では、和歌山市・沖縄県 3 市・滋賀県大津市の 3 つの地域、計 7 校で、小・中学校におけるダンスの授業のコーディネートを行いました。

 - 7) 昨年度に引き続き「京都府次世代文化継承発展事業」では、舞鶴市立由良川小学校、精華町立山田荘小学校、京都府立八幡支援学校にアーティストを派遣・コーディネートを行いました。

8) 「こちかぜ(東風)キッズダンス」では、2014 年度よりの継続事業として、京都市東山区の地域の子供たちに、ダンスによるワークショッププログラムを取り入れる事で、心身共に健康な‘生きる力’を蓄えた子ども達の育成に取り組むこと、そうした地域を支える人材を育てる‘ひとづくり’を通して、この地域の活性化につなげていくことを目的に、東山いきいき市民活動センター と京都市三条学童保育所にてダンスワークショップを行い、地域のお祭りで発表すると共に、フォトブック+別冊報告書の製作・配布を行いました。

9) その他、佐東が財団法人地域創造の「現代ダンス公共ホール活性化事業(通称・ダン活)」のチーフコーディネーターとして、長野県飯山市なちゅらなどでのダンスの事業をコーディネーターとして関わる。他、沖縄、大分などでのアートマネジメントセミナーを行う。

今後もダンスの環境整備に必要なプログラムを実施していきたいと思えます。

特定非営利活動に係る事業

■事業名：ダンスの全国巡回公演を可能にするネットワーク作り事業

JCDNダンス作品クリエイション&全国巡回プロジェクト

踊りに行くぜ！！Ⅱ vol.7

<http://odori2.jcdn.org/7/>

(■自主事業/□コーディネート事業/□セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

■具体的な事業内容：

踊りに行くぜ！！Ⅱ(セカンド)は、

●2000年から2009年までの10年間、全国巡回公演「踊りに行くぜ！！」で築いてきた人と場所のネットワークを活かし、ダンス作品のクリエイションを全国の主催・共催者(パートナー)と協同でサポートすること。

●そこで制作された作品を全国巡回公演で上演し、作品の質を高めていく機会をつくること。

このような動きが全国に波及していき、日本におけるダンス作品制作環境を豊かにすることを目的とするプロジェクトです。

具体的には、1月から3月に渡り、札幌・仙台・福岡・東京・京都にて巡回公演を行ないました。

新作のアイデアを全国公募から選出した[Aプログラム/ダンスプロダクション]の3作品と、東京・京都のみでそれぞれ上演する[Cプログラム/地元作品]の2作品を上演しました。

<クレジット>

一文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」一

■主催 文化庁/NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

■協力 公益財団法人セゾン文化財団

■各地共催・制作・協力

札幌:NPO法人コンカリーニョ

仙台:からだメディア研究室/せんだい演劇工房 10-BOX

福岡:「踊りに行くぜ!!」Ⅱ福岡公演実行委員会/スリーオクロック/

公益財団法人福岡市文化芸術振興財団/アートマネジメントセンター福岡(AMCF)/イムズ

東京:あうるすぽっと(豊島区公益財団法人としま未来文化財団)/豊島区

京都:京都芸術センター

ダンス・イン・レジデンス:城崎国際アートセンター(豊岡市)

■実施日時・場所:

■開催地域/開催会場名/日程/公演回数 (開催順) 合計 7ヶ所 12公演

<2017年>			
札幌	■生活支援型文化施設コンカリーニョ	1月14日(土)	2回公演
仙台	■仙台市宮城野区文化センター ハテナシアター	1月28日(土)・29日(日)	2回公演
福岡	■イムズホール	2月4日(土)	1回公演
東京	■東池袋中央公園/あうるすぽっと	3月17日(金)~19日(日)	各3回公演
京都	■京都芸術センター	3月25日(土)~26日(日)	2回公演

■従事者の人数：5名

■受益対象者の範囲及び人数：

■出演者名（あいうえお順）合計 10組 43名

A/ダンスプロダクション・サポートプログラム：

岩渕貞太チーム（4名）/山下残チーム（4名）/黒田育世チーム（7名）

B/リージョナルダンス・クリエイションプログラム：

伊藤千枝（作品出演者3名）/北村成美（出演者5名）/ゆみうみうまれ（出演者7名）

地元作品計3組10名

再演作品計1組3名

■観客：全国6箇所合計 1,404名

■他、全国 5地域+レジデンス1地域の共催者・関係者

■事業費の金額（単位：千円）39,710

■事業名：海外との国際交流、コラボレーション、レジデンスプログラムなどの推進事業

国際レジデンス

(■自主事業/□コーディネーター事業/□セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

JCDN 国際ダンス・イン・レジデンス・エクスチェンジ・プロジェクト VOL.6 2016 日本-香港 共同製作プログラム

■具体的な事業内容：

アジアの伝統芸能・古典舞踊などを現代作家の視点で見直し、2016年9月～10月まで沖縄の那覇・備瀬、札幌で滞在制作を行う。香港からコンテンポラリーダンスの振付家・パフォーマーの HUGH CHO、京劇俳優の CHOI CHI WEI を招聘し、日本からは神楽の振付にも取り組んでいる振付家・緒方祐香、パフォーマー・美術家・芸能研究家の中西レモンを共同制作者として迎える。また、これまで香港のアーティストたちと活発に活動してきた川口智子をレジデンス・アーティストとして選出し、香港で滞在制作を行う。

<クレジット>

平成28年度文化庁アーティスト・イン・レジデンス活動支援事業

主催：NPO法人 JCDN 共催：City Contemporary Dance Company (CCDC) / Dance Centre

制作協力：NPO法人コンカリーニョ / 沖縄ダンスネットワーク準備室

広報協力：NPO法人 S-AIR / 一般社団法人 PROJECTA / 関 鎮京(北海道教育大学岩見沢校芸術・スポーツビジネス専攻芸術文化政策研究室准教授)

■実施日時・場所：

9月16～23日 那覇滞在制作

9月23～30日 備瀬滞在制作

9月22日 ワークショップ 会場：沖縄県立博物館・美術館 アトリエ

10月1～10日 札幌滞在制作

10月8日 滞在制作作品 Showing 会場：ターミナルプラザことにパトス

10月9日 フォーラム「アーティスト・イン・レジデンス | 創造的な滞在がもたらす力」 会場：豊平館

12月20日～1月5日 香港滞在制作

1月4日 滞在制作作品 Showing 会場：City Contemporary Dance Company (CCDC) スタジオ

■従事者の人数：2名

■受益対象者の範囲及び人数：

<ワークショップ> 講師：Hugh Cho、Choi Chi Wei、緒方祐香、中西レモン

<ダンス公演> 「三岔口-SAMCHAHOU」 作・演出・振付・出演：HUGH CHO、振付・出演：CHOI CHI WEI / 緒方祐香 / 中西レモン

<フォーラム> ダニエル・ユン(振付家・キュレーター・美術批評家)、柴田尚(NPO法人 S-AIR / アートディレクター)、下山久(国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ総合プロデューサー)

<香港レジデンスアーティスト> 川口智子(演出家)、鶴沢光(能楽師) Chloe Wong・黄静婷(振付家、ダンサー)、Paris Wong・王候偉(広東オペラ俳優)

■観客：合計約200名(公演・イベント・ワークショップ)

■他、共催者・関係者

■事業費の金額(単位：千円)8,000

震災復興支援

(■自主事業/□コーディネート事業/□セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

ヒューマンセレブレーション 三陸国際芸術祭 2016

■事業内容:

三陸国際芸術祭 2014・2015 の 2 回の実施を通して、この東北三陸の郷土芸能が、世界に誇れる質と多様性、そして何よりも団体数の多さに驚きました。この芸術祭を少なくとも 2020 年まで継続し、様々な郷土芸能を日本全国、ひいては世界に紹介すると共に、芸能を通して被災地間そしてアジアのネットワークを培っていくことで、文化芸能を軸とした文化産業を生み出し、被災地の復興の一助とします。

2020 年の東京オリンピック年には文化の祭典のオープニングイベントとして、被災地が一つの会場として取り上げられ、地元の芸能を紹介するだけでなく、アジアと共存する日本ということ、芸能を通して世界にアピール出来たらと考えています。

また、芸術祭を開催することと並行して、被災地の各地にアーティスト・イン・レジデンスの場所を開拓し、世界中のアーティストが滞在して、地域と連動した作品制作を行えるような環境づくりを行いたいと考えています。

2020 年以降、東北が、日本とアジア、そして世界との芸能・芸術のハブ機能を持つ“芸術特区”として、世界の人々が集う地域になることを目指します。

「三陸国際芸術祭 2016」では、被災の逆境や、共同体のアイデンティティなどといった社会的課題と芸能の関わりをテーマに、パフォーマンスやフォーラムの形で密な交流を図りつつ、刺激を与え合う場を作るべく、各プログラムを実施してきました。

<クレジット>

平成 28 年度文化庁国際芸術交流支援事業

共催：(公社)全日本郷土芸能協会、みんなのしるし合同会社

■実施日時・場所:

- 7 月 23 日～8 月 7 日(日) 『100 年後のまつりの支度 2016「舟に音を積みこむ。」』
会場：気仙沼みなとまつり街頭会場 (南町紫市場前ほか)
- 8 月 11 日(木・祝) 『三陸国際芸術祭 in 八戸』
会場：三陸復興国立公園種差海岸天然芝生地
- 8 月 16 日(火) 『第 42 回三陸港まつり』
会場：大船渡市立三陸公民館駐車場
- 9 月 9 日(金) フォーラム『三陸とアジアの未来～2020 年を越えて～』
会場：大船渡プラザホテル
- 9 月 10 日(土)・11 日(日) 『メインプログラム in 大船渡』
会場：岩手県大船渡市盛町界限
- 10 月 22 日(日) 『三陸国際芸術祭 in 六本木アートナイト 2016』
会場：六本木ヒルズアリーナ
- 10 月 23 日(日) 国際芸能ミーティング『地域×芸能×創造』
会場：ハロー貸会議室四谷駅前 RoomA

■従事者の人数：2名

■受益対象者の範囲及び人数:

■出演者・参加団体:

<100年後のまつりの支度 2016「舟に音を積みこむ。」>

齊藤道有(美術家)、トチアキタイヨウ(ダンサー/振付家)、その他公募参加者:18名

<三陸国際芸術祭 in 八戸>

トbron農楽団(韓国)、永浜鹿踊(大船渡市)、内丸えんぶり組(八戸市)、法霊神楽(八戸市)

<第42回三陸港まつり>

トbron農楽団(韓国)、黒岩鬼剣舞(北上市)、川原鎧剣舞(以下、大船渡市)、浦浜念仏剣舞、金津流浦浜獅子躍、福原幸三郎と仲間たち

<メインプログラム in 大船渡>

フィリピン国立芸術高校(フィリピン)、サンガル スニ マリシン(インドネシア)、エユセル(インドネシア)、バロンダンス(インドネシア)、ライオンダンス(香港)、浪板虎舞(気仙沼市)、女川港大漁獅子舞まむし(女川町)、内丸えんぶり組(八戸市)、浦浜念仏剣舞(大船渡市)、胡屋・仲宗根遊び獅子(沖縄市)、さんさ踊り清流(盛岡市)、中西レモン(相模原市)、赤丸急上昇(松山市)、ロスホコス(京都市)、北村成美(草津市)

●コミュニティダンス①:

小林あや(イギリス)、野中香織(福岡市)、犬楽団、公募参加者:32名

●コミュニティダンス②

マニシア(福岡市)、ラタ(新潟)、大村恵世、公募参加者:51名

●美術家:

大黒貴之(ドイツ)、原田ミドー(江別市)、三浦のろこ(大船渡市)、前田彬(南城市)

おもてなし道化(ルビ:どおげ):湯浅文音(東京)、磯島未来(仙台市)、道化にふんしたボランティア

<三陸国際芸術祭 in 六本木アートナイト 2016>

臼澤鹿子踊(大槌町)、バロンダンス(インドネシア)、ガムラングループ・トゥラン・ブーラン(横浜市)、今津雅晴(東京)、磯島未来(仙台市)、田中望(山形市)

■観客: 合計約 6,683 名

■出演者、共催者・関係者 のべ 60 団体、のべ 1200 人

Sanriku-Asian Network project(サンプル)

ー東北とアジアを芸能で結ぶプロジェクトー

■事業内容:

東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方は、郷土芸能の宝庫と呼ばれ、数多くの郷土芸能の団体が存在しています。人と人、世代と世代を繋ぐ役割を果たしてきた郷土芸能の再興を通じて、被災地の人々がかつての生活と郷土の文化に誇りを取り戻すことが、復興にとって重要な要素となっています。これを単なる復興に留めずアジアとのネットワークに発展させることで、世界の中の郷土芸能という観点から、その価値を再発見・再認識します。

また自然災害の多いアジア地域において、今回の被災の教訓を共有し、将来の災害に備えるため、「復興における郷土芸能の役割」や「被災地の郷土芸能の保存」等について、研究機関や行政機関と連携して、調査・研究を進めていくことも課題となっています。

こうした理念を基に、主催:国際交流基金アジアセンター・共催:NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)は、「三陸国際芸術祭(サンフェス)」とも連携を取りながら、年間を通して東北とアジアを芸能で繋ぐ「Sanriku-Asian Network Project(サンプル)」を実施しています。

■実施日時・場所:

A) アジアの芸能を招へいするプログラム

アジアの芸能団体を招へいし、東北各地の郷土芸能団体と交流し、互いの芸能の成り立ち、動き、音楽など様々な角度から、互いを知る機会とする。その中から一緒にアジアの新しい芸能を創る可能性を探る。

A-1 トブロン農楽団・交流会プログラム

日時・場所:

2015年8月10日(水) 白浜女房(青森県八戸市)

8月12日(金) こどもはっち(青森県八戸市)、八戸酒造(青森県八戸市)、
みろく横丁(青森県八戸市)

8月13日(土) 浦浜民俗芸能伝承館(岩手県大船渡市)

A-2 エユセル・交流プログラム

日時・場所:

2016年9月5日(月) 10:30~11:30 大船渡市立日頃市小学校・体育館

9月5日(月) 12:00 真・三陸自治会館“ば”

9月7日(水) 14:40~15:30 大船渡市立末崎中学校

アーティスト:”EYUSER”Ethnic Music of Papua(“エユセル”パプア民族音楽)

A-3 リアスホール・国際芸能交流会

日時・場所:

2016年9月7日(水) 大船渡市民文化会館リアスホール・アトリエ

アーティスト:”EYUSER” Ethnic Music of Papua(“エユセル”パプア民族音楽Philippine High School for the Arts(フィリピン国立芸術高校))

特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

平成 26 年度 事業報告書 p. 8



B) 被災地の郷土芸能をアジアに派遣するプログラム

被災地の郷土芸能がアジアを訪れ、その地の芸能とより深い交流を行う。芸能の交流だけではなく、その地の芸能の在り方や、継続の方法、国の文化政策などの情報を得ることにより、被災地の将来に向けた構想を考えるきっかけとする。

B-1 大槌とアチェの色彩と鼓動が響くー臼澤鹿子踊インドネシアで舞うー

日程:2015年12月12日(土)~12月14日(月)

場所:インドネシア(バトゥブラン村、シンガパウ村、プンゴセカン村)

アーティスト:臼澤鹿子踊保存会、櫻田素子、阿部一成

C) 新しいアジアの芸能を創出するプログラム

東北の郷土芸能とアジアの芸能が刺激し合い、伝統芸能と現代とを経験・理解するアーティストを紹介して、新たなアジアの芸能を創りだす。

C-1 三陸国際芸術祭・六本木アートナイト2016

日時:2015年10月22日(土)12:00~13:00「獅子の系譜」上演

13:00~13:45 鹿子やバロンやガムランに触れてみよう

場所:六本木ヒルズアリーナ

アーティスト:臼澤鹿子踊、バロンダンス、ガムラングループ・トゥラン・ブーラン、今津雅晴、磯島未来、田中望

D) 伝統と現代を結びつけるプログラム

これまで、伝統芸能や郷土芸能と一般のアーティストが出会う機会はほとんどありませんでした。「習いに行け!東北へ、アジアへ!!」や共同制作の機会を設け、これからの新しい芸能や芸術を創り出していくために、積極的に互いに刺激し合う場を創出します。

D-1 『習いに行け!東北へ!!』~永浜鹿踊り~

日程:2016年9月5日(月)、6日(火)

場所:永浜鹿踊り保存会(大船渡市赤崎町)

アーティスト:北村成美、中西レモン、マルティヌス・ミロト

E) 調査・研究・アーカイブプログラム

本プロジェクトを実施するための基礎資料として、東北を中心に日本の郷土芸能の実態調査を行う。また、各芸能の記録や写真、映像をアーカイブとして保存すると共に、世界に向けて英語でも発信し、郷土芸能に関する世界的な調査・研究を促す。

F) 災害と芸能芸術をテーマとした学術交流プログラム

世界各地で、大きな災害があった地域では、必ず文化芸術が大きな力となって、復興に一翼を担ってきたことから、「復興における郷土芸能の役割」や「被災地の郷土芸能の保存」等の課題について、大学等の研究機関と連携して、世界的な視野そして長期的なスパンで考える場を創る。

F-1 『国際芸能ミーティング『地域×芸能×創造』 ～生活とつながりながら新たな芸能を考える～

日時：2016年10月23日(日)13:00～17:00

場所：ハロー貸会議室四谷駅前 RoomA

出演・登壇：小岩秀太郎、稲田奈緒美、櫻田素子、東梅英夫、東谷一三、
上野武夫、イ・マデ・マハルディカ、デワ・グデ・グナ・アルタ、イ・デワ・プトウ・ライ、今
津雅晴、ダニエル・ユン、トブロン農楽団、
Komunitas Thikar Pandan

F-2 『フォーラム 三陸とアジアの未来』 ～2020年を越えて～ 芸能による復興と新たなコミュニティの創造

日時：9月9日(金)13:30～17:00

会場：大船渡プラザホテル

出演・登壇：宮田文化庁長官、桜井国際交流基金理事、吉本光宏、古水力、
東梅英夫、他、参加者全員
司会メセナ協議会・荻原康子、稲田奈緒美

<クレジット> 主催：国際交流基金アジアセンター・共催：NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN)

■従事者の人数：2名

■受益対象者の範囲及び人数：約5000人

■2事業費の合計金額(単位：千円)55,000

- 事業名：ダンスが人々と出会う機会を作るためのアウトリーチ活動／
ダンスに関する普及活動・調査研究・政策提言等の事業

コミュニティダンス

(■自主事業／□コーディネート事業／□セミナー・シンポジウム／□海外研修・視察など)

■アウトリーチ活動

コミュニティダンス・ファシリテーター養成スクール 2016

■具体的な事業内容： コミュニティダンス・ファシリテーターを国内で養成することを目的に、2014 年にスタートしました。英国の Foundation for Community Dance が、毎年夏に開講している‘Summer School’をモデルに、ダイアナ・アマンズ、セシリア・マクファーレンを講師に招き、[基礎][応用]の 2 コースを開講しています。このスクールを通して、社会とダンスのつなぎ手となるファシリテーターとともに、今後の日本のコミュニティダンスにおける新たな可能性を切り開いていきたいと思えます。

■実施日時・場所： 2016 年 10 月 7 日(金)～10 日(月祝) 福岡県立社会教育総合センター

■従事者の人数： 2 名

■受益対象者の範囲及び人数：

■講師・参加者

講師：ダイアナ・アマンズ(Diane Amans)、セシリア・マクファーレン(Cecilia Macfarlane)

日本人アドバイザー：アオキ裕キ、新井英夫、北村成美、マニシア

レクチャー・トーク ナビゲーター：稲田奈緒美、佐東範一(JCDN)

参加者：合計 25 名

■制作協力：横山恭子(オフィスケイワイ)

■事業費の金額(単位：千円) 1,157

■普及活動

Community Dance in Japan on web

■事業内容：08 年 8 月、「Dance Life Festival2008」東京・京都シンポジウムをきっかけに立ち上げたサイト。日本でコミュニティダンスを推進していくために、日本全国でどのようなコミュニティダンスの活動が行われているかを紹介する為のポータルサイトを目指します。登録者の書き込みによって、情報をデータベース化し、だれでも検索・閲覧ができること、海外の事例や資料の紹介も行っています。

■実施日時・場所： 通年 <http://cdj.jcdn.org/>

■従事者の人数： 1 名

■受益対象者の範囲及び人数：

■講師・参加者：[Community Dance in Japan on web]：不特定多数

■他、共催者・関係者

■事業費の金額(単位：千円) 0

■事業名：ダンスが人々と出会う機会を作るためのアウトリーチ活動

地域活動

(■自主事業/□コーディネート事業/□セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

こちかぜ(東風)キッズダンス

—東山区発の、ダンスによる子ども育成を通じた地域力創造プログラム 2016

■具体的な事業内容： 東山区の地域の子供たちに、ダンスによるワークショッププログラムを取り入れる事で、心身共に健康な‘生きる力’を蓄えた子ども達の育成に取り組むこと、そうした地域を支える人材を育てる‘ひとづくり’を通して、この地域の活性化につなげていく。2014年度からスタートし、継続3年目のプログラム。活動を継続することで子どもたちとの関係性を深めていくこと、また今年度の新たな試みとして公募を行い、他学区・地域の子どもと出会う機会をつくる事で、本プログラムを通じた子どもたちの成長や変化を丁寧に見ていく。また、活動の成果をフォトブック+報告書にまとめ、全国に発信する。

■実施日時・場所：

【前期：京都市三条学童保育所の子どもたちとのワークショップ&公演】

2016年7月～2016年11月（計12回）

会場：京都市東山いきいき市民活動センター 多目的ホール(体育室)、京都市三条学童保育所
成果上演「三条まちづくりフェスタ2016」(11/6)

【後期：公募ワークショップ『東風(こちかぜ)ダンスの日』】

2016年12月～2017年2月（計6回）

会場：京都市東山いきいき市民活動センター 多目的ホール(体育室)、他

【アウトリーチ：京都市開晴小中学校5組(育成学級)での1日ダンスワークショップ】

2017年1月10日(火)10:00～11:30

【フォトブック+別冊報告書の製作・配布】

2017年3月

■従事者の人数：1名

■受益対象者の範囲及び人数：

■講師・参加者：

【前期・後期共通】

[ワークショップナビゲート・作・演出] セレノグラフィカ(隅地茉歩・阿比留修一)

[美術・衣裳ワークショップナビゲート] 出川晋

[アシスタント・サポート] 千代その子、高木貴久恵

[写真記録] 草本利枝

[ワークショップ協力] 中村達也・室田敬介

参加児童：(前期)小学生(1年生～3年生) 計15人

(後期)4歳から小学生、保護者、地域の方々

述べ参加人数：大人22人、子供80人 計102人

【アウトリーチ：京都市開晴小中学校5組(育成学級)での1日ダンスワークショップ】

ダンスワークショップナビゲート：セレノグラフィカ(隅地茉歩・阿比留修一)

参加児童：小学1年生—中学3年生 計12人

■他、学校関係者

■事業費の金額(単位：千円) 1,088

■事業名：ダンスが人々と出会う機会を作るためのアウトリーチ活動

教育事業コーディネート

(□自主事業／■コーディネート事業／□セミナー・シンポジウム／□海外研修・視察など)

平成 28 年度児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験（芸術家派遣）

■具体的な事業内容：文部科学省の児童生徒を対象とした芸術表現体験事業。JCDN は H28 年度、和歌山市・沖縄県 3 市・滋賀県大津市の 3 つの地域、計 7 校で、小・中学校におけるダンスの授業のコーディネートを行いました。

■実施日時：

【和歌山県】和歌山市立新南小学校(2016/12/12～14)、和歌山市立和歌浦小学校(2017/1/17～19)【沖縄県】石垣市立石垣小学校(2017/2/2～3)、那覇市立石嶺小学校(2017/1/30～31)、名護市立瀬喜田小学校(2017/2/27～3/1)【滋賀県】大津市立仰木の里東小学校(2017/1/17・20・24)、大津市立伊香立中学校(2017/2/13・14・16) ※各校体育館にて

■従事者の人数：1 名

■受益対象者の範囲及び人数：

【和歌山市立新南小】講師：合田緑・高橋砂織(yummydance)、参加児童：4年生 41 名【和歌山市立和歌浦小】講師：山内美幸・宇都宮忍(yummydance)、参加児童：5 年生 41 名【石垣小】講師：知花幸美、参加児童：3年生 63 名【那覇市立石嶺小】講師：マニシア、参加児童：6 年生 66 名【名護市立瀬喜田小】講師：マニシア、参加児童：1・2・3年生 36 名【大津市立仰木の里東小】講師：隅地菜歩・阿比留修一/セレノグラフィカ、参加児童：4 年生 114 名【大津市立伊香立中】講師：康本雅子、参加生徒：全校生徒 46 名 他、学校関係者

■事業費の金額（単位：千円）2,600

文化を未来に伝える次世代育み事業 「学校・アート・出会いプロジェクト」（京都府）

■具体的な事業内容：京都府の掲題事業に、NPO 法人がコーディネーターとして関われるようになり、JCDN は H28 年度、京都府内の 3 校で、ダンスの授業のコーディネートを行いました。

■実施日時・場所：

舞鶴市立由良川小学校(2016/10/18・19・28)、精華町立山田荘小学校 2016/7/1・9/27・10/31・11/29・2017/1/25、京都府立八幡支援学校(2016/12/19・1/13・20・23・26)

■従事者の人数：1 名

■受益対象者の範囲及び人数：

講師：東野祥子、アシスタント：ケンジルビエン、対象：4～6 年生 25 名(舞鶴市立由良川小学校)、講師：康本雅子、写真記録：草本利枝、対象：特別支援学級児童 1～6 年生 7 名(精華町立山田荘小学校)、講師：福岡小百合+追手門学院高校表現コミュニケーションコース 3 年生 13 名、副指導者 1 名、アシスタント：高橋芽生子、対象：中学部 1～3 年生 35 名(京都府立八幡支援学校) 他、学校関係者

■事業費の金額（単位：千円）977

■事業名: コンサルテーション・コーディネート事業 制作的サポート事業

その他コーディネート

(□自主事業/■コーディネート事業/■セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

さいたまスーパーアリーナ青少年育成事業

身体表現ワークショップ+発表公演

■事業内容:さいたまスーパーアリーナではこれまで市民向けの演劇のワークショップ+発表を行ってきました。昨年よりダンスも加えたいと要請を受け、振付家をコーディネートし、どのようなプログラムで行っていくかを共に進めました。

■実施日時・場所: [WS]2016年8月23日～ / [公演]2016年10月23日(日)

会場:さいたまスーパーアリーナ 4階 TOIRO STUDIO

主催:株式会社さいたまアリーナ、後援:埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会

■従事者の人数:1名

■受益対象者の範囲及び人数:

[演劇ワークショップ] 講師:中村公平(劇団レトロノート代表)、参加者20名

[ダンスワークショップ] 講師:佐藤美紀、鈴木ユキオ、参加者12名

■観客: 合計 約100名

■他、共催者・関係者

■事業費の金額(単位:千円)600

他、(財)地域創造現代ダンス活性化事業 チーフコーディネーター、城崎国際アートセンター ダンスアドバイザー、舞踊年鑑委員

■事業名：コンテンポラリーダンスに関わる情報の発信事業・コミュニケーションの場の創生事業

管理部門：会員へのサービス事業

(■自主事業/□コーディネート事業/□セミナー・シンポジウム/□海外研修・視察など)

■事業内容： JCDNではアクティブ会員を対象に、ダンスを社会に広める為の様々な支援サービスを行っています。

◎毎月の情報発信はこれで《無料》

「JCDN メールマガジン」

説明： JCDN アクティブ・サポート・ダンスコミュニティ会員へのメールマガジン。登録会員は受信及び情報掲載が可能。エッセイやお知らせ、また公演情報を掲載させていただきます。〈毎月5日頃配信予定。情報締切は毎月末〉

◎毎年更新。国内・海外へのアプローチに必須！《無料》

「JCDN ダンスファイル」 <http://wikiwiki.jp/jcdnmdfj/>

説明： 2007よりWebで展開している、JCDNダンスファイルには、会員である日本各地のアーティスト・カンパニー/オーガナイザー・オーガニゼーション/ライター・評論家・ほかの情報を掲載。日本語版、英語版の2サイトを作成しており、世界中で閲覧され、様々なプログラムの参考資料として活用されています。

◎公演、ワークショップの宣伝にも最適。情報を検索してその場で予約OK！《無料》

「JCDN ダンスリザーブ」〈オンラインチケット予約システム〉

説明： ホームページにアクセスし、サイト上のフォームから簡単に公演情報をご自身で登録できます。サイトにアクセスした利用者は、掲載された公演情報を検索・閲覧し、その場で予約申込が可能。申込内容は登録のメールアドレスにそのつど転送されます。

◎あなたのイベント、JCDNのダンス顧客に発信します。《有料》

「DM サービス」

説明： JCDN アクティブ会員様に限り、公演・ワークショップ情報などをJCDNの会員・ダンスリザーブ利用者宛に発信していただけます。県単位での地域の選択も可能。料金は登録数によって変動します。

◎海外へのビデオ送信もこれで完璧！《有料》

ビデオ変換ダビングサービス 〈ワールドワイド対応〉

説明： 海外のフェスティバルやオーガナイザーに作品のビデオを送るとき、海外からビデオを受け取ったが再生方式がビデオデッキと合わないとき、30分単位の手数料+実費で変換ダビングを請け負います。対応再生変換方式はお問合せ下さい。

◎小枚数のDVDコピーを、安価で提供します。《有料》

DVD コピーサービス

説明： 小ロットのコピーに1枚単位から対応いたします。 価格 [DVD1枚につき、メディア代込みで150円]

※別途オプションで盤面印刷も承ります(有料)。

◎書籍・ビデオなどを販売！《有料》

「JCDN DANCE ONLINE SHOP」〈オンライン物販サービス〉

説明： JCDN DANCE ONLINE SHOPにて、ダンスに係わる書籍やDVDなどを販売できます。

(販売手数料20%いただきます)

■実施日時・場所：通年 WEB サイト他

■従事者の人数：1名

■受益対象者の範囲及び人数： 全国各地の会員 約110名+関係者
ダンスリザーブユーザー 約6000名